

## 保育園における感染症の登園基準一覧表

保育園は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。登園に際しては、以下の配慮をお願い致します

- ① 園内での感染症の集団発症や流行につながらないこと
- ② 子どもの健康(身体)状態が保育園での集団生活に適応できる状態に回復していること

A 医師が記入した意見書が必要な感染症		
病名	感染しやすい期間	登園の目安
麻疹	発症1日前から発疹出現後の4日後まで	解熱後3日を経過してから
風疹	発疹出現前7日から後7日間位まで	発疹が消失してから
水痘(水ぼうそう)	発疹出現1～2日前から痂皮形成まで	すべての発疹が痂皮化してから
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	発症後3日前から耳下腺腫脹後4日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が出現してから5日を経過するまで、かつ全身状態が良好になるまで、
結核		医師により感染の恐れがないと認められるまで
咽頭結膜熱 (プール熱、アデノウイルス)	発熱、充血等の症状が出現した数日間	主な症状が消え2日経過してから
流行性角結膜炎	充血、目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いいため結膜炎の症状が消失してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで、又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
腸管出血性大腸菌感染症 (O157、O26、O111 等)		症状が治まり、かつ抗菌薬による治療終了後48時間をあけて、連続2回の検便によりいずれも菌陰性が確認されたもの
急性出血性結膜炎	ウイルスが呼吸器から1～2週間、便から数週間～数か月排出される	医師のより感染の恐れがないと認めるまで
髄膜炎菌性髄膜炎		医師により感染の恐れがないと認めるまで
※インフルエンザ	症状がある期間 (発症前24時間前から発病後3日程度までが最も感染力が強い)	発症した5日間を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで (乳幼児にあつては、3日が経過するまで)

※インフルエンザについては上記の欠席期間を遵守することで登園許可書は不要です。